

## 5 月 11 日 : VN 指数は続伸するも、売買は低調

続伸するも商いは薄く、投資家はマーケットの先行きに慎重となっている。

ホーチミン市場の VN 指数は、0.62% 高の 1,301.53 ポイントで取引を終えた。同指数は前日 1.89% 高で引けていた。

その一方、ハノイ市場の HNX 指数は 0.92% 高の 333.04 ポイントで取引を終えた。同指数は前日 2.05% 高で引けていた。

セクター別では全 25 業種のうち 18 業種が上昇した。中でも情報通信、建設、建設資材セクターの上昇が目立ち、それぞれ 3.1%、2.9%、2.4% 値上がりした。

FPT グループ (FPT) +3.56%、ベカメックス IDC (BCM) +5.74%、ビンホームズ (VHM) +0.86、リー冷蔵電気工業 (REE) +6.93%、DIC 不動産 (DIG) +6.98%、ビンコムリテール (VRE) +2.85% も堅調で、VN 指数の上昇をけん引した。

銀行セクターも好調だった。上場する銀行株 20 銘柄のうち、13 銘柄が上昇した。エクシムバンク (EIB) は 7% のストップ高を付けた。またヴィエティンバンク (CTG) +5.95%、ベトナム投資開発銀行 (BID) +0.84%、軍隊商業銀行 (MBB) +1.66%、アジアコマーシャル銀行 (ACB) +2.6% といった大手銀行銘柄も買われた。

一方で水産加工、食品飲料セクターは軟調だった。主な値下がり銘柄には、マサングループ (MSN) -3.62%、ビナミルク (VNM) -1.56%、サイゴンビール・アルコール飲料 (SAB) -0.85% も含まれた。

ホーチミン、ハノイ市場の売買高、売買代金は前日と比べ 30% 以上減少した。売買高は 4 億 6,800 万株、売買代金は 12 兆 6,000 億ドンとなった。

「VN 指数の下げは 1,230 ポイントの下値サポートエリアの前で抑えられ、その後上昇に向かった。しかし売買高は増加しておらず、銘柄選別では多くの銘柄が売られているため、上昇は限定的であると思われる」 (Phường Nguyễn 氏、ベトドラゴン証券の株式アナリスト)

「VN 指数は引き続き上昇する可能性があるが、株式需給による下値圧力を受ける可能性もあるだろう。投資家はマーケット動向を注視するために売買を控え、反発のチャンスを生かして自身のポートフォリオを再構成し、大きな売り圧力を受けている株式のリスクを最小限に抑えるのが良いだろう」 (同氏)

外国人投資家はホーチミン市場で引き続き売り越したが、売り越し額は 950 億と前日と比べて減少した。その一方、ハノイ市場では買い越し、買い越し額は約 4 億ドンとなった。

---

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。